

環境経営レポート

2024年度(2023/9月～2024/8月)

株式会社 タムラ

発行日: 2024年12月26日

目次

- ①組織の概要
- ②対象範囲
- ③環境経営方針
- ④環境経営目標の設定
- ⑤環境経営計画と実績の評価
- ⑥環境経営目標と実績
- ⑦環境保全活動の取り組み結果の評価、次年度の取り組み内容
- ⑧環境関連法規等順守状況の確認及び評価の結果ならびに
違反、訴訟等の有無
- ⑨代表者による全体評価と見直し・指示

①組織の概要

●会社概要

◎事業者名 株式会社 タムラ
◎代表者 代表取締役 田村 良久
◎資本金 2000万円
◎設立年月日 昭和41年12月20日 (創業 大正10年)
◎所在地 〒132-0023 東京都江戸川区西一之江4-9-28

●環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

◎責任者:田村 良久 ◎担当者:大久保 信明・佐々木 伸隆
◎連絡先 TEL:03-3652-4000 FAX:03-3652-4065
E-mail kabu-tamura@rapid.ocn.ne.jp

●事業の概要

◎非鉄金属リサイクル業

●沿革

- ◎1921年 社長曾祖父が東京市淀橋区で田村精錬所を創業。
- ◎1938年 社長祖父が江戸川区の現在地に工場を建設する。
- ◎1946年 戦後、合資会社田村合金精錬所として事業再開する。
- ◎1959年 社長祖父が朝日金属精錬株式会社に社名組織を変更する。
- ◎1966年 株式会社田村精錬所と社名組織を変更し代表取締役に
社長父、田村浩章が就任。
- ◎1986年 契約先拡大のため隣接地372坪を取得し新工場を建設、
資本金を2,000万円に増資。株式会社タムラと社名を変更する。
- ◎2005年 業務拡大のため営業部、業務部を拡充。
近隣への防音・粉塵対策のため、本社工場を建て替え。機械設備等を更新。
- ◎2009年 自家発電設備として、(発電量30kWの)太陽光パネルを設置。
(平成21年度経済産業省「新エネルギー等事業者支援対策事業」採択事業者として、補助金受ける。)
- ◎2010年 自家発電設備として、(発電量30kWの)太陽光パネルを増設。
- ◎2011年 江戸川区より自然エネルギー(太陽光発電装置)導入による環境対策が
評価され「もったいない運動えどがわ区長賞」を受賞。
- ◎2014年 業務拡大のため敷地の増設。
- ◎2019年 田村良久が代表取締役に就任。

●事業の規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
処理量	t	626.90	657.49	749.70	696.20
売上高	百万円	1,433	1,233	1,782	1,858
従業員	人	22	22	22	22
床面積	m ²	1,491.76	1,491.76	1,491.76	1,491.76

②対象範囲

●事業の内容

非鉄金属の受け入れ・破碎・選別・販売、太陽光発電事業

◎品目

金属滓、鉄くず、ステンレスくず、チタンくず、真鍮くず、貴金属くず

○弊社は、産業廃棄物収集運搬業の許可を保有しておりますが、実績はありません。

●対象組織

全社対象：本社・工場

●設備の概要

●工場認可 ◎認可番号 第H16-29 号

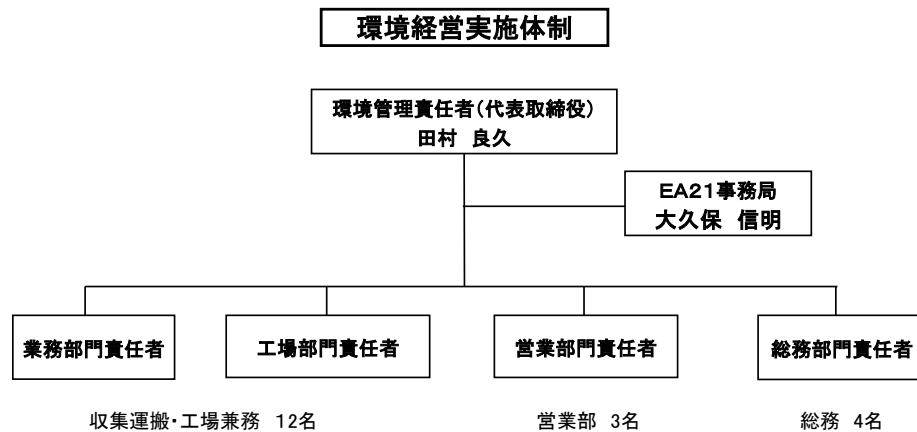
●車両の種類と台数

◎トラック 6台（大型 3台、中型3台）

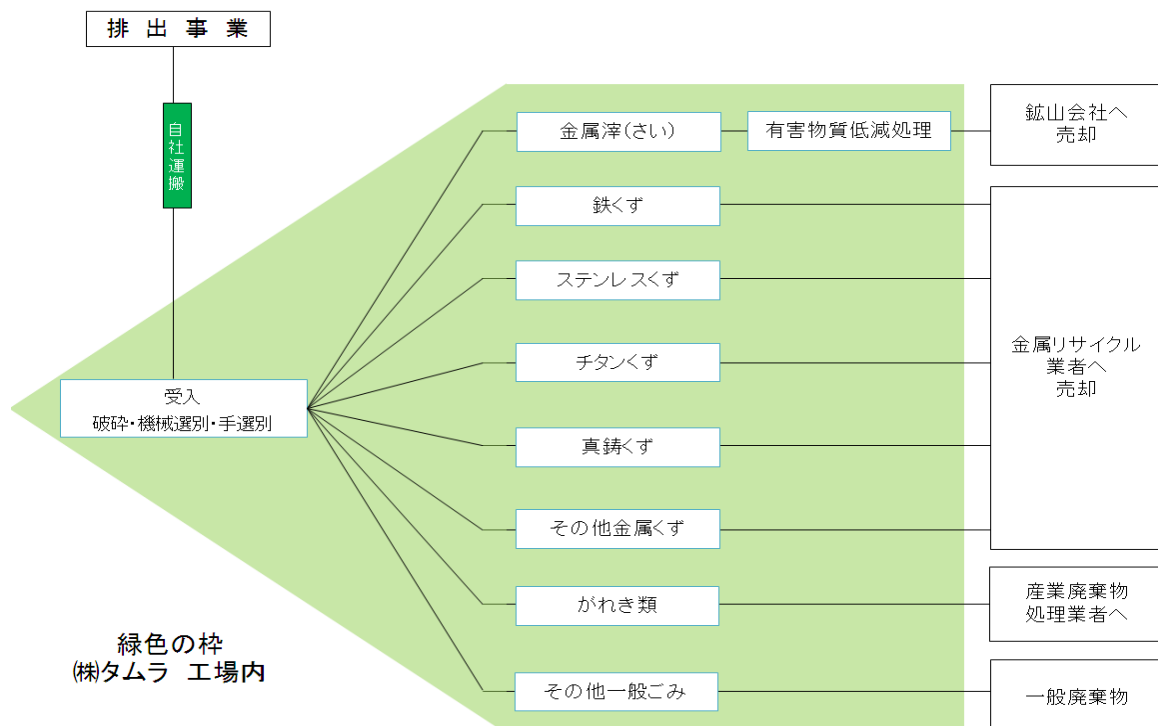
◎営業車 普通車6台

◎フォークリフト 3台

◎ショベルローダー 1台



処理フロー



③環境経営方針

環境経営理念

株式会社タムラは、限り有る資源を大切にし、身近な地域の環境に及ぼす影響力を最大限理解した上で、全ての企業活動を環境に配慮したものへと改善に努めます。

そして、リサイクル業界における模範企業としての自覚を持ち、作業管理を徹底し、サービスの品質向上に努めて参ります。

環境経営方針

1. 環境関連法規則・条例・業界の規範、指針及び自主規制を遵守します。
2. エコアクション21のガイドラインに基づいた環境評価を実施し、環境活動の継続的改善に取り組みます。
3. 環境教育の実施および、環境講座への社員の派遣を通じて、全社員の環境意識と専門的な環境知識の向上を図ります。
4. 環境経営目標及び行動計画として下記の重点項目を設定し、必要に応じて見直すことによって、環境方針に整合した活動を行って参ります。
 - ①二酸化炭素排出量削減のために省エネルギーの推進
 - ②廃棄物の削減とリサイクル率の向上
 - ③水資源節約のためのこまめな節水
 - ④化学物質の管理の推進
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥混合物におけるPRTR法対象化学物質の無害化サービスの提供・顧客へのデータの提供の有無
5. 環境経営方針は全従業員に周知します。

2020年9月1日 改定

株式会社 タムラ

代表取締役 田村 良久

② 環境経営目標(中期3か年)

作成：2023年10月2日

No	環境経営方針項目		項目 単位	基準値	CO2 換算係数	年 度 目 標					
				(2022年度)		2023年度		2024年度		2025年度	
1	二酸化炭素 排出量の削減	購入電力量の削減 ならびに 売電量の増加 売電量と購入電力量の比率 売電量の増加	購入電力量 (kwh/年)	67,605		基準値より 1.0% 削減	66,929	基準値より 2.0% 削減	66,253	基準値より 3.0% 削減	65,577
			太陽光発電 (kwh/年)	55,000		基準値を維持	55,000	基準値を維持	55,000	基準値を維持	55,000
			売電量 (kwh/年)	29,115		基準値より 1.0% 増加	29,406	基準値より 2.0% 増加	29,697	基準値より 3.0% 増加	29,988
			売電量比率＝売電量 ／購入電力量 (％)	43.07		基準値より 2.01% 増加	43.94	基準値より 4.09% 増加	44.82	基準値より 6.19% 増加	45.73
		化石燃料消費量の削減		油種別消費量		基準値より 1.0 %削減		基準値より 2.0 %削減		基準値より 3.0 %削減	
			ガソリン 〈L／年〉	621	2.322	615 L／年以下		609 L／年以下		602 L／年以下	
			軽油 〈L／年〉	25,949	2.624	25,690 L／年以下		25,430 L／年以下		25,171 L／年以下	
			都市ガス 〈Nm ³ ／年〉	1,104	2.108	1,093 Nm ³ ／年以下		1,082 Nm ³ ／年以下		1,071 Nm ³ ／年以下	
		計 (kg-CO ₂)	kg-CO2 ／年以下	100,585		99,579 kg-CO ₂ ／年以下		98,573 kg-CO ₂ ／年以下		97,567 kg-CO ₂ ／年以下	
		2	廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物排出量 kg／年	768		基準値より 0.1 %削減		基準値より 0.3 %削減		基準値より 0.5 %削減
767 kg／年以下							766 kg／年以下		764 kg／年以下		
リサイクル率の維持	リサイクル率 ％			100	基準年のリサイクル率を維持			基準年のリサイクル率を維持		基準年のリサイクル率を維持	
					100			100		100	
3	水使用量の削減 ＜水道使用量: m ³ ＞	水道使用量 m ³ ／年	513		基準値より 0.5 %削減		基準値より 1.0 %削減		基準値より 1.5 %削減		
					510 m ³ ／年以下		508 m ³ ／年以下		505 m ³ ／年以下		
4	化学物質の管理	1)混合物に含まれているPRTR法対象化学物質への 作業員の健康被害防護措置および処理工程で使用 する毒物・劇物の適切な使用・保管	事故・苦情 率 ％	0.0		基準年の事故・苦情率を維持		基準年の事故・苦情率を維持		基準年の事故・苦情率を維持	
			％			0.0		0.0		0.0	
		2)処理工程で使用する医薬用外劇物(硝酸)の適切 な使用・保管	硝酸使用量 kg	200		基準値を維持		基準値を維持		基準値を維持	
					200		200		200		
5	グリーン購入の推進 ＜新規採用品目の増加＞	エコ商品 新規採用 品目／年	17		基準値より採用数増(新規)		基準値より採用数増(新規)		基準値より採用数増(新規)		
					18(+1)		19(+2)		20(+3)		
6	混合物中に含まれるPRTR法対象化学物質の無害化 処理サービスの提供・顧客へのデータの提供	データ提供 件数 実績・数値	14		基準年の件数を維持		基準年の件数を維持		基準年の件数を維持		
					14		14		14		

※東京電力エナジーパートナー(株)二酸化炭素排出係数(0.441kg-CO₂/kWh)

⑤環境経営計画と実績の評価(月別)

環境目標項目			取組の内容	計画・実績	2024年度('23年 9月～'24年 8月)														合計	評価 達成率
					23/8月	9月	10月	11月	12月	23/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			
二酸化炭素排出量の削減	1)購入電力量の削減 基準値より 2.0%削減 単位: kwh/年	①空調・照明の作業箇所のみを使用	参考値(前年)		5608	6264	5959	7275	6358	8387	5972	6016	4373	5924	5187	4438	71761	×		
		計画		5,100	5,100	5,100	6,800	5,800	7,850	5,900	5,900	4,300	5,500	5,080	3,823	66,253				
		②作業効率化による作業時間の短縮	実績		5,797	6,217	5,763	8,087	7,159	7,604	7,450	7,002	4,980	4,662	4,612	4,192	73,525	111.0%		
	太陽光発電 基準値を維持 単位: kwh/年	①太陽光発電装置の運転の確認	参考値(前年)		5,148	3,862	3,580	3,317	3,777	4,412	4,972	6,047	6,873	5,886	7,862	7,544	63,280	○		
			計画		4,580	4,580	4,580	4,580	4,580	4,580	4,580	4,580	4,580	4,580	4,620	55,000	×			
			実績		5,429	5,328	3,722	3,462	3,946	4,104	6,158	4,396	7,053	6,402	6,794	7,063		63,857	116.1%	
	東京電力へ売電 基準値より 2.0%増加 単位: kwh/年		参考値(前年)		2,220	1,672	2,093	994	1,859	1,582	2,073	1,908	3,447	2,886	2,514	3,852	27,100	×		
			計画		2,474	2,474	2,474	2,474	2,473	2,474	2,474	2,474	2,474	2,474	2,474	2,484	29,697			
			実績		2,557	1,960	2,051	1,374	1,566	1,654	2,240	2,078	3,514	3,262	2,297	3,739	28,292	95.3%		
	売電量と購入電力量の比率 売電量の増加 基準値より 4.09%増加 単位: %		参考値(前年)		37.76												37.76	×		
			計画		44.82												44.82			
			実績		38.48												38.48	85.9%		
	2)化石燃料消費量の削減 基準値より 2.0 %削減	①エコドライブの励行	参考値(前年)		0.00	0.00	13.23	72.45	0.00	0.00	59.00	34.34	0.00	27.01	121.66	28.04	355.73	○		
		②効率のよい移動ルートの選択	計画		50	50	50	59	50	50	50	50	50	50	50	50	609			
		③定期的な車両メンテナンス ガソリン 単位:L	実績		0	30	14	0	30	0	0	36	0	24	139	0	273	44.9%		
		①エコドライブの励行	参考値(前年)		2,868	2,186	2,385	3,175	1,496	1,701	4,158	2,430	1,678	1,938	1,725	2,139	27,881	○		
		②効率の良い集荷日程の編成	計画		2,120	2,000	2,020	2,320	1,480	2,120	3,800	2,120	2,020	2,020	1,700	1,710	25,430			
		③定期的な車両メンテナンス 軽油 単位:L	実績		2,567	1,593	2,271	2,113	1,791	2,360	3,474	1,787	1,900	1,892	1,709	1,537	24,994	98.3%		
		④ガス節約の継続	参考値(前年)		16	25	35	93	118	144	343	51	38	28	23	14	928	×		
			計画		90	90	90	90	90	82	90	90	90	90	90	100	1,082			
		ガス: 単位Nm ³	実績		12	15	33	79	117	845	1,029	77	39	30	21	18	2,315	214.0%		
	二酸化炭素排出量 基準値より 2.0% 削減	単位	参考値(前年)		72,785												72,785	×		
			計画		98,573												98,573			
			kg-CO2/年以下	実績		102,553												102,553	104.0%	
廃棄物排出量の削減	1)一般廃棄物の削減 基準値より 0.3 %削減 単位: kg	①分別の徹底 (印刷要・不要か選択でき、紙を節約できるFAX機導入・コピー用紙の裏紙の使用)	参考値(前年)		64	72	64	71	55	56	72	64	56	72	64	55	765	○		
			計画		63	63	63	60	60	72	73	63	60	63	63	63	766			
			実績		64	72	64	71	61	61	61	64	61	61	64	61	765	99.9%		
			搬出個数		16	16	16	16	12	16	16	16	12	16	16	12	180			
	2)産業廃棄物 基準値 100 % の維持 単位: %	①リサイクル率の維持	参考値(前年)		100												100	○		
			計画		100												100			
水使用量の削減 基準値より 1.0 %削減 単位: m ³	①手洗い時・入浴時の節水	参考値(前年)		81		83		94		98		109		118		583	×			
		計画		84		80		80		84		88		92		508				
		実績		127		137		135		114		116		98		727	143.1%			
化学物質の管理	1)混合物に含まれるPRTR法対象化学物質への作業員の健康被害防護措置及び処理工程で使用する毒物・劇物の適切な使用・保管 事故・苦情率0%を維持 単位: %	①適切な作業環境	参考値(前年)		0												0	○		
			計画		0												0			
		②作業員の防護装備の徹底	実績		0												0	○		
	2)処理工程で使用する医薬用外劇物(硝酸)の適切な使用・保管 基準値を維持 単位: kg	③硝酸使用量の管理	参考値(前年)		200												200			
		計画		200												200	○			
		④法律を遵守した適切な取扱いと保管	実績		40												40			
グリーン購入の推進 ＜新規採用品目の採用＞ エコ商品新規採用品目の追加 基準値より採用数増(新規) 17(+2) 単位: 品目	①環境配慮製品の購入の検討	参考値(前年)		19												19	○			
		計画		19												19				
		実績		19												19				
	混合物中に含まれるPRTR法対象化学物質の無害化処理サービスの提供・顧客へのデータの提供 基準値の件数14件を維持 単位: 件数	①無害化処理	参考値(前年)		14												14	○		
計画				14												14				
②分析結果のデータの管理			実績		14												14			

6p

⑥環境経営目標の達成状況および環境活動計画の実施状況、その評価結果

2023年 9月1日～2024年8月31日

作成年月日: 2024年9月17日

No	環境方針項目		項目 単位	基準値	CO2 換算係数	2024年度目標		2024年度実績	判定・ 達成率
				(2022年度)					
1	二酸化炭素排 出量の削減	購入電力量の削減 ならびに 売電量の増加	購入電力量	67,605	0.441	基準値より 2.0% 削減	66,253	73,525	× 110.9%
			太陽光発電 (kwh/年)	55,000		基準値を維持	55,000	63,857	○ 116.1%
			売電量 (kwh/年)	29,115		基準値より 2.0% 増加	29,697	28,292	× 95.2%
			売電量と購入電力量の比率 売電量の増加	43.07		基準値より 4.09% 増加	44.82	38.48	× 85.8%
		化石燃料消費量の削減		油種別消費量		基準値より 2.0 %削減			
			ガソリン 〈L／年〉	621	2.322	609 L／年以下		273	○ 44.8%
			軽油 〈L／年〉	25,949	2.624	25,430 L／年以下		24,998	○ 98.3%
			都市ガス 〈Nm ³ ／年〉	1,104	2.108	1,082 Nm ³ ／年以下		2,315	× 213.9%
	計 (kg-CO ₂)	kg-CO2 ／年以下	100,585		98,573 kg-CO2／年以下		102,553	× 104%	
2	廃棄物排出量の 削減	一般廃棄物 排出量 kg／年	768		基準値より 0.3 %削減		765	○ 99.8%	
					766 kg／年以下				
		産業廃棄物 リサイクル率の向上	リサイクル率 %	100 / 100		基準年のリサイクル率を維持		100	○ 100%
						100			
3	水使用量の削減 ＜水道使用量：m ³ ＞		水道使用量 m ³ ／年	513		基準値より 1.0 %削減		727	× 143.1%
						508 m ³ ／年以下			
4	化学物質の管理	1)混合物に含まれているPRTR法対象化学 物質への作業員の健康被害防護措置およ び処理工程で使用する毒物・劇物の適切な 使用・保管	事故・苦情 率 %	0.0		基準年の事故・苦情率を維持		0.0	○ 1000%
			0.0						
		2)処理工程で使用する医薬用外劇物(硝 酸)の適切な使用・保管	硝酸使用量 kg	200		基準値を維持		40	○ 20%
			200						
5	グリーン購入の推進 ＜新規採用品目の増加＞		エコ商品 新規採用 品目／年	17		基準値より採用数増(新規)		19	○ 100%
						19(+2)			
6	混合物中に含まれるPRTR法対象化学物質の無害化 処理サービスの提供・顧客へのデータの提供		データ提供 件数	14		基準年の件数を維持		14	○ 100%
			実績・数値		14				

※2019年度の東京電力エナジーパートナー(株)二酸化炭素排出係数(0.441kg-CO₂/kWh)

⑦環境保全活動の取り組み結果の評価および次年度の取り組み内容

(運用期間2023年9月～2024年8月)

環境目標	2024年度取り組み内容	評価	責任者	取り組み内容の結果の評価	2025年度の取り組み内容
購入電力の削減	空調・照明の作業箇所でのみの使用	× 110.9%	全社員	購入電力の削減は目標値に対して未達成。夏場の熱中症対策、冬場での感染予防の為に常時換気とエアコン使用が考えられる。次年度に向けて努力をしていきたい。	作業の効率化、事務所等の節電を継続して意識する。
	作業効率化による作業時間の短縮				
太陽光発電：基準値を維持、東京電力へ売電売電量の増加	太陽光発電装置の正常な運転	発電量 ○ 116.1%	EA21 事務局	発電量は目標値を超えた。売電量については目標に対して未達成であるが、購入電力を補えているため評価できる。工場、休憩室、事務所であと少しの節電意識を心がけていきたい。	太陽光発電装置の発電量の把握を継続していく。
		売電量 ○ 95.2%			
		売電量比率 ○ 85.8%			
ガソリン・軽油の削減	エコドライブの励行・移動及び集荷ルートの効率化 定期的な車両メンテナンス	ガソリン ○ 44.8% 軽油 ○ 98.3%	営業部長 工場長	訪問先のルート効率化により目標を達成できた。 また従業員のエコドライブの意識向上が見込まれた。	今後もルート効率化を図り、エコドライブを継続していく。
ガス使用量の削減	使用部門の作業効率化で無駄な使用機会削減の努力	○ 213.9%	専務	ガスの使用量は目標値を上回ったが、昨年度は目標を達成しており、作業工程上の業務量増加が要因である為、必要量を確保しつつ、節約意識を継続していく。	安定して削減につながる箇所があるのか継続して調査する。
一般廃棄物排出量の削減	分別の徹底 (印刷要・不要か選択でき、紙を節約できるFAX機使用・コピー用紙の裏紙使用)	○ 99.8%	全社員	コピーの裏面使用やFAX用紙の削減など節約は全社員で取り組んでいる。排出量は昨年度と同様に年間の排出回数に係数を掛けて重量を算出。その値を実績値とした。	無駄な紙の使用などが無いように日頃から継続して意識していく。 具体的な排出量の把握が難しいので、ゴミの集荷日・搬出回数をかけた概算を算出している。
産業廃棄物リサイクル率100%の維持	リサイクル率の維持 再資源化・再生利用業者への委託	○	EA21 事務局	委託先で中間処理され、再資源化が行われているため、リサイクル率は100%である。(産業廃棄物はがれき類を150t排出)	引き続きマニフェストをしっかりと管理し、法令を順守して委託を行う。
水使用量の削減	手洗い時・入浴時・作業車洗車時の節水	○ 143.1%	全社員	水の使用量は目標値を上回った。夏場の熱中症対策のミスト扇風機、粉じん対策の散水、風呂の使用が考えられるが、必要量を確保しつつも節水意識を心がけていきたい。	今後も手洗い時・入浴時等の節水を心掛ける。必要時のみの使用。
化学物質の管理	混合物に含まれているPRTR法対象化学物質への作業員の健康被害防護措置および処理工程で使用する毒物・劇物の適切な使用・保管	○	専務	今年度も事故・苦情はなかった。	継続して作業員の防塵装備の徹底、毒物・劇物の適切な取扱いと管理を日頃から意識して行う。
グリーン購入の推進	現在使用している備品を環境配慮している製品に積極的に代えていく。	○ 19/19品目	EA21 事務局	目標を達成することができた	今後も事務用具など細かい物も環境に配慮したものの採用を増やしていきたい。
環境配慮サービスの提供	混合物中に含まれるPRTR法対象化学物質の無害化処理サービスの提供・顧客へのデータの提供	○	営業部長	従業員の有害物質への知識向上及び、顧客のニーズに対応した結果、他社と違う付加価値を提供できた。	従業員、顧客への有害物質に対しての更なる意識とサービスの向上を目指す。

⑧環境関連法規等順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- 環境関連法規の違反はありません。
- 関係当局よりの指摘及び訴訟は過去3年間(2022年～2024年)ありません。
- 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果は下記の通りである。

区分	環境関連法規等名称	法令条項	法規制等要求事項	取り組み事項	チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	法12.5～7	1.委託の基準	法令順守・適切な管理運営	2024/8/30	遵守
		法12の3	2.産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	5年間のマニフェストの保管管理		
		法12の3.7	3.知事への報告	年に1回の報告		
		法25～33	4..罰則	法令順守・適切な管理運営		
	江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 江戸川区条例第四十七号 (一般廃棄物)	法4条の2	1.事業系一般廃棄物の処理	排出量の削減に取り組む	2024/8/30	遵守
		法76条～79	2.罰則	法令順守・適切な管理運営		
資源循環 (リサイクル)	自動車リサイクル法	法8	1.自動車所有者	使用済みの自動車を専門業者へ引き渡すこと	2024/8/30	遵守
		法73	2.費用負担の方法	新車購入時のリサイクル料金の支払いとリサイクル証明書を受けといること		
化学物質	毒物及び劇物取締法	法22の5	1.業務上取扱者(非届出業者) ・規制内容	法令順守・適切な管理運営	2024/8/30	遵守
化学物質 (含まれる物質)	化管法 (PRTR法)		1.法の目的	法令順守・適切な管理運営	2024/8/30	遵守
		法2.5 令3、4、5	2.法の適用条件	対象物質の確認と従業員への周知徹底		
大気汚染	自動車NOx・PM法 (排ガス抑制法)		1.法の適用条件		2024/8/30	遵守
		法4	2.事業者の責務	全従業員への周知徹底		
		法40	3.事業者の努力義務	適切なルートを選択とエコドライブの徹底		
	フロン排出抑制法	法16	1.第一種特定製品の管理者の講ずべき事項	業務用エアコンの簡易点検の実施	2024/8/30	遵守
		法107	2.罰則	法令順守・適切な管理運営		
大気汚染 および 安全	道路運送車両法	法47	1.使用者の点検及び整備の義務	全従業員への周知徹底	2024/8/30	遵守
		法47の2	2.日常点検整備	使用前後のタイヤ空気圧等の点検		
		法48	3.定期点検	月に1回の自社メンテナンス		
		法58	4.自動車の検査及び自動車検査証	法令点検の適切な実施		
安全	労働安全衛生法	法3	1.事業者の責務	法令順守と従業員への周知徹底	2024/8/30	遵守
		法4	2.労働者の責務	法令順守・会社の就業規則に従うこと		
		法59～60の2	3.教育	適切な講習・教育の実施		
		法66	4.健康診断	年に1回の健康診断の受診		
		法101	5.法令の周知	法令順守及び法改正の内容を周知すること		
		法122	6.両罰規定	就業規則の徹底		
		法20～36	7.危険又は健康障害を防止するための事業者の 講ずべき措置など	労働者への適切な教育等を行うこと		
消防	消防法	法9の4	1.指定数量未満の危険物・指定可燃物	適切な管理	2024/8/30	遵守
		法17	2.消防用設備等	消火器・誘導灯等の簡易点検と法定点検の実施		
		法39の2～3	3.罰則	法令の遵守・適切な管理運営		
		法2	4.消防法による危険物の分類と指定数量	第6類危険物 指定数量300kg		
	東京都火災予防条例 条例第65号	条30	1.指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱いの 遵守事項	自治体条例に従うこと 適切な管理運営	2024/8/30	遵守
		条66	2.罰則	法令順守・適切な管理運営		
工場 認可	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	第110条第1項	1.化学物質の使用量の報告	年に1回の報告	2024/8/30	遵守
		第81条第1項	1.工場設置の認可	法令順守・適切な管理運営		
		第82条第1項	1.工場変更の認可	法令順守・適切な管理運営		

2. 責務(努力義務)のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	法令条項	法規制等要求事項	取り組み事項	チェック日	結果
グリーン購入	グリーン購入法	法5	1.事業者及び国民の義務	対象商品の選択	2024/8/30	遵守

⑨代表者による全体評価と見直し結果・指示

代表者	環境管理責任者
田村	田村

見直し実施日	2024年 9月 30日 (☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し)		
見直し対象期間	2023年 9月 1日 ~ 2024年 8月 31日		
出席者	代表者、環境管理責任者、部門責任者		
前回の指示への取組結果	指示:環境への負荷の自己チェック表で4.受託、または受託した廃棄物、再生資源等の処理量等で(3)再生資源の回収・収集物(4)再生資源の再資源化等の実態に合った数値を記載して管理をすること。 結果:環境への負荷の自己チェック表に記載をしました。		
見直しに必要な情報	①2017年度版環境への負荷の自己チェック表		
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、②、③、④等を踏まえて評価) 環境経営システム自体は機能している。		
	【環境への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)		
	目標項目	目標達成状況	評価
	・CO2排出量の削減 ・購入電力量の削減 ならびに売電量の増加 ・売電量と購入電力量において売電量比率の増加 ・ガソリン使用量の削減 ・軽油使用量の削減 ・ガス使用量の削減	購入電力: × (110.9%) 売電量: × (95.2%) 売電量比率: × (85.8%) ガソリン: ○(44.8%) 軽油: ○(98.3%) ガス: ×(213.9%)	○
	・廃棄物排出量の削減 ・一般廃棄物の削減	○(99.8%)	○
	・産業廃棄物のリサイクル率の維持	○	○
	・水使用量の削減	×(143.1%)	○
	・化学物質の管理 ・事故・苦情率0%の維持	○	○
	・グリーン購入の推進 ・新規採用品目の増加	○(19/19品目)	○
	・環境配慮サービスの提供 ・データ提供件数の基準値の維持	○	○
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 環境経営方針の内容は変更していない。		
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 環境経営目標・環境経営計画は変更していない。		
	【実施体制について】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 実施体制について、変更はしていない。		
	【総括(代表者による全体評価と見直しの結果)】(環境活動レポートに転記) 今期は軽油・ガソリンの目標を達成できた。年度ごとの資源引取り量と廃棄物等の出荷量に増減はあるが、昨年度より走行距離も掌握を始めており、トラックと営業車で効率的なルートの選択、エコドライブの心がけ等、配慮ができた事が評価できる。 購入電力量・水道・ガス使用量については目標に対して未達成の為、次年度に向けて節約を心がけていきたい。 太陽光発電量も目標を達成できており、購入電力量を補えている。 近年の夏場においては猛暑日が続いており、熱中症の対策として必要電力が今後も増える事が想定されるが、各工場においても作業工程の管理と連携を取っており、各エネルギーの必要量を確保しながらも節約意識を持ち、目標達成に向けて努力をしていきたい。		

注)①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。
②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。
③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。